

株主のみなさまへ

第88期  
中間株主通信

2015年4月1日～2015年9月30日



豊かで快適な生活のために

2016年3月期 第2四半期の業績

売上高

**4,254**億円

計画比：+2.8%

営業利益

**84**億円

計画比：+38.2%

経常利益

**94**億円

計画比：+34.3%

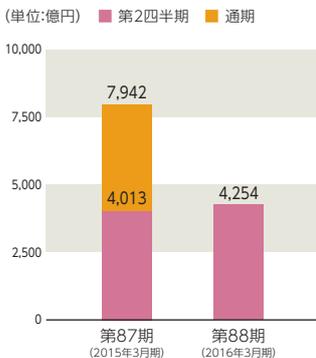
四半期純利益

**62**億円

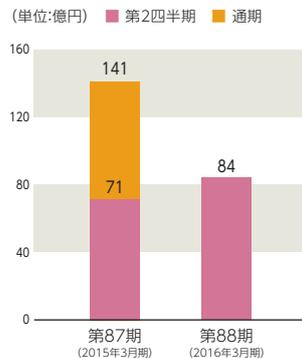
計画比：+35.3%

業績の推移

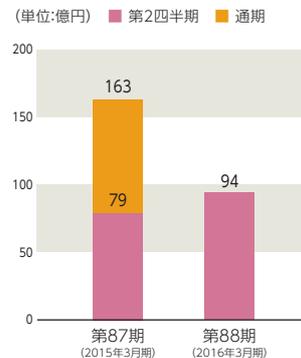
売上高



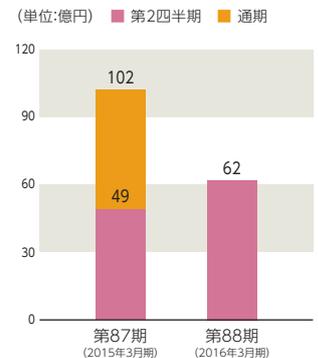
営業利益



経常利益



四半期(当期)純利益



当第2四半期の売上高は、消費者マインドの改善やインバウンド消費の拡大などにより、予想を上回りました。各段階利益につきましても継続的な生産性向上への取り組み成果により、予想を上回る結果となりました。

2016年3月期 通期の業績予想

売上高

**8,500**億円

前期比：+7.0%

営業利益

**150**億円

前期比：+5.8%

経常利益

**175**億円

前期比：+7.2%

当期純利益

**110**億円

前期比：+7.1%

2016年3月期 通期の業績につきましては、第2四半期の実績、及び2015年10月1日をもって合併いたしました伊東秀商事(株)の業績寄与分等を加味し、期初の増収減益から増収増益の予想に修正しております。

※2016年3月期第1四半期から、会計方針の変更等を行ったことにより、2015年3月期実績及び2016年3月期実績につきましては、当該会計方針の変更等を反映して記載しております。



## 生産性向上に取組み、持続的成長による 中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
2016年3月期第2四半期における当社の事業概況をご報告申し上げます。

代表取締役社長

木村 清隆

2016年3月期第2四半期につきましては、緩やかながら、所得環境の持ち直し等に伴う消費マインドの改善や訪日外国人のインバウンド消費の拡大などにより、市場環境は改善傾向で推移いたしました。このような状況のなか、当社はさらなる生産性向上を図り、持続的成長に向け取組んでまいりました。

その一環として、前期に1年前倒しで中期経営計画を達成することができましたので、今期を初年度とする3か年の新たな中期経営計画を策定いたしました。当社が取組むべき方針を明確にし、引き続き中長期的な企業価値向上に向け、小売業様、メーカー様をはじめ運送業者様などのステークホルダーの皆様とともに協力しながら、計画達成に向け邁進してまいります。

また、最大市場である関東エリアにおける、「RDC関東」（埼玉県白岡市）の新設や、東北エリアにおける「RDC東北」（岩手県花巻市）の増設、並びに「FDC青森」（青森県青森市）及び「FDC八戸」（青森県八戸市）を新設し、事業拡大と物流生産性向上のみならず、トラック台数の見直し等によるCO<sub>2</sub>削減にも取組み、環境に優しい

サプライチェーン全体の最適化・効率化に取り組んでまいりました。

一方で、さらなる業容の拡大と生産性向上に向け、2015年8月11日に伊東秀商事株式会社と合併（金銭による合併）することを決議し、同年10月1日に合併いたしました。

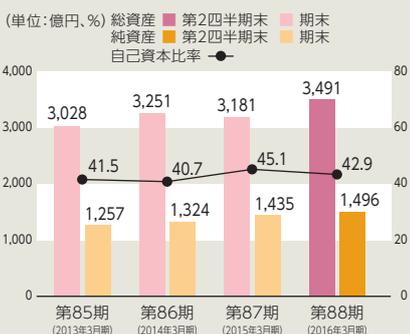
数値面につきましては、期初には、大型の設備投資に伴う一過性のコスト発生により、増収減益の計画を立てておりましたが、売上高の増加や、継続して取組んでいる生産性向上に対する活動が徐々に効果を発揮しつつあることなどにより、増収増益を達成することができました。

これもひとえに投資家の皆様をはじめステークホルダーの皆様の温かいご理解とご支援の賜物と深謝申し上げます。今後も、継続した生産性向上に取組み、持続的な成長による中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

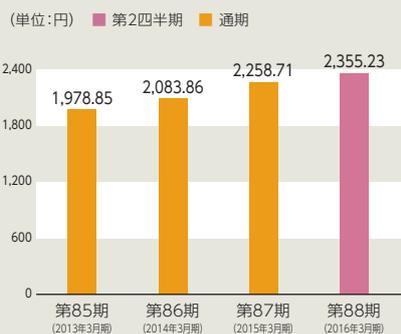
株主の皆様におかれましては、ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 財務ハイライト

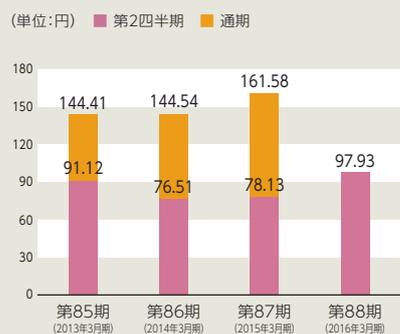
#### 総資産／純資産／自己資本比率



#### 1株当たり純資産額



#### 1株当たり四半期(当期)純利益



※2016年3月期第1四半期から、会計方針の変更等を行ったことにより、2015年3月期実績及び2016年3月期実績につきましては、当該会計方針の変更等を反映して記載しております。  
なお、2014年3月期以前の実績には反映しておりません。

# 3カ年中期経営計画を策定

(2016年3月期～2018年3月期)

中期ビジョン2018

## 「社会に真に必要とされる 中間流通業に向けた取組み」

～売上高1兆円に向けた企業体質の強化～

重点戦略

機能強化を支える  
「情報システムの強化」

環境変化に耐えうる  
「さらなる生産性の向上」

4  
中期ビジョン  
を実現させる  
つの柱

中間流通業としての  
「機能強化」

持続的成長を実現させる  
「人材の育成」

### 中期経営計画について

当中期経営計画では、世の中に必要とされる社会インフラを担える企業として企業体質の強化に取組んでまいります。

従来からの取組みである「生産性向上」や「機能強化」に加えて、スピード化や情報活用等を目的とした「情報システムの強化」とこれら取組みを実現するための「人材の育成」に特に注力し、持続的成長に努めてまいります。

	2015年3月期 実績	2018年3月期 目標	成長率
売上高	7,942 億円	8,800 億円	+11% ↑
営業利益	141 億円	165 億円	+16% ↑
経常利益	163 億円	185 億円	+13% ↑
当期純利益	102 億円	120 億円	+17% ↑

### 伊東秀商事(株)との合併について (2015年10月1日付)

同業卸(取扱商品:化粧品・日用品)である伊東秀商事株式会社との合併により、同社で培われた事業資産・ノウハウの集約、及び中間流通段階における取扱高の増加により、流通全体を視野に入れた生産性向上を図ってまいります。

### RDC関東開設について (2015年8月稼働)

最大市場である関東エリアにおいて、出荷能力拡大と物流生産性向上を実現し、小売業様・メーカー様との取組みを推進することで、同エリアにおける事業基盤の強化を図ってまいります。同エリアに既存するRDC(東京・横浜)との連携により、配送面においても効率化を図り、生産性向上と環境負荷の軽減に努めてまいります。



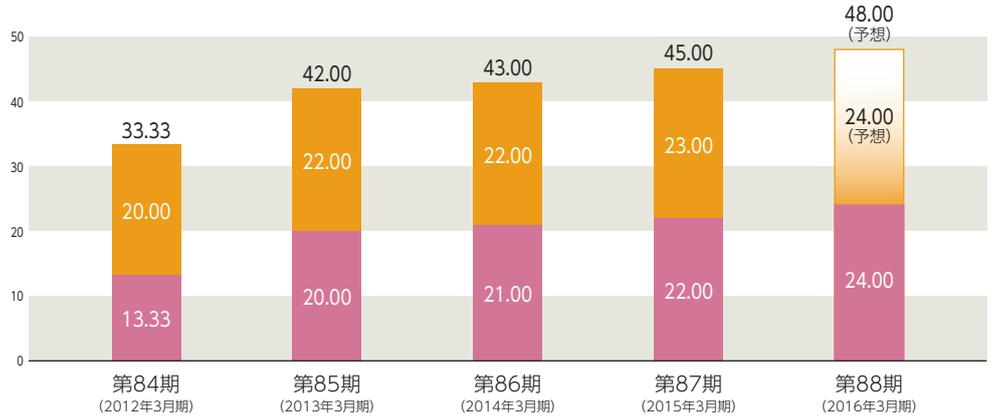
## 株主還元について

当期の中間配当金につきましては、売上高及び各段階利益ともに予想を上回り増収増益となりましたので、1株当たり中間配当金を前回予想に比べ1円増配し24円といたしました。また、期末配当金の予想につきましても1株当たり1円増配し24円といたしました。

これにより1株当たりの年間配当金は前期に比べ3円増配し48円となる見込みです。

## 配当実績／配当予想

(単位:円) ■ 中間 ■ 期末



※当社は、2012年1月1日付で株式1株につき1.5株の株式分割を行っております。表中の1株当たり配当金額は当該株式分割に伴う影響を避及修正して算定しております。

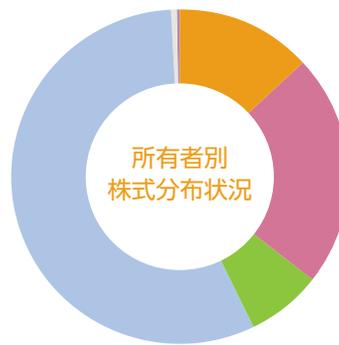
上場以来継続して増配を実施

## 株式の状況

(2015年9月30日現在)

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数 ※自己株式含む	63,553,485株
株主数	5,160名

※自己株式5,858株



金融機関	8,435千株 (13.27%)
外国株主	14,278千株 (22.47%)
個人株主	4,513千株 (7.10%)
その他法人	35,809千株 (56.35%)
証券会社	510千株 (0.80%)
自己株式	5千株 (0.01%)

## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
配当金受領 株主確定日	3月31日、9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel. 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 (証券コード8283)
単元株式数	100株
公告の方法	当社ホームページに掲載いたします (公告掲載URL) <a href="http://www.paltac.co.jp/">http://www.paltac.co.jp/</a> 但し、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた場合には、日本経済新聞に掲載する

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金に関するお手続き、その他株式事務に関する一般的なご照会につきましては、株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。

## 単元未満株式について

単元未満株式(1株~99株)をお持ちの株主様は、当社に対しその単元未満株式の買取を請求することができます。

買取請求のお手続きの方法等につきましては、お取引のある口座管理機関(証券会社等)にお問い合わせください。

## ホームページのご案内

株主・投資家の皆様向けの「IR情報」や、企業情報、事業内容などのコンテンツを掲載しておりますので、是非ご利用ください。

PALTAC IR

検索

<http://www.paltac.co.jp/>

社会インフラとして生活を支えつづけて110余年

 株式会社 PALTAC

### 見直しに関する注意事項

この中間株主通信に記載されている当社の計画、見直し、戦略などは、日本経済の動向、業界の動向、市場の競争状況などの影響を受けます。そのため、実際の業績はこれら見直しと異なる可能性がありますことをご承知おきください。



この冊子は環境にやさしい植物油インキを使用しています。